

# 様式③-1

事業地区・箇所別概要（1）

令和4年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート（継続事業）

## 1 事業の基本データ

①計画事業名	事業名 基幹土地改良施設防災機能拡充保全事業	地区・箇所・路線名 木曾岬2期地区
②事業担当課	担当課 農業基盤整備課	担当班 農地防災班
		電話番号 059-224-2604
③事業施工場所	地域(市部・郡部/一般・準過疎・過疎) 桑名	市町字名 郡部 一般 木曾岬町 富田子
④事務事業名	基幹土地改良施設防災機能拡充保全事業	
⑤基本事業名	洪水防止対策の推進	
⑥公共事業評価システムにおける分野名	災害の防止	

## 2 事業の概要

事業の目的 老朽化による排水機の機能低下や流域開発に伴う流出率、流出量の増大等の要因から引き起こる湛水被害を未然に防止し、農業経営の安定と地域の安全確保を図るものである。		
事業の概要		
排水機	3基	事業採択
排水機場	1式	事業着工
		事業完了
		供用開始
		全体計画事業費(億円)
		全体計画工期(年数)
		2014年度
		2014年度
		2023年度
		2024年度
		23.360
		10年

## 3 事業計画の進捗状況

実施済み事業の概要			事業進捗率の算定式 [進捗率=実施済み総事業費/計画事業費×100]
排水機	3基		2020年度までの事業進捗率
排水機場	1式		2021年度完了までの事業進捗率
			実施済み総事業費(億円)
			64.4%
			78.8%
			18.396

## 4 公共事業の再評価実施の必要性

下記2基準に基づく今年度の再評価の必要性 (該当する項目の前に○印)	<input checked="" type="radio"/>	必要である
	<input type="radio"/>	必要でない
<b>1. 三重県公共事業再評価実施要綱による対象事業判定(該当する項目にチェックする)</b>		
<input type="checkbox"/>	①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業	
<input type="checkbox"/>	②事業採択後一定期間(5~10年)を経過した時点で継続中の事業	
<input type="checkbox"/>	③再評価実施後一定期間が経過している事業	
<input type="checkbox"/>	④社会経済状況の急激な変化等により再評価を実施する必要性が生じた事業	
<b>2. 公共事業の見直し基準による対象事業判定(該当する項目にチェックする)</b>		
<input type="checkbox"/>	①社会経済情勢の変化により、住民ニーズ、事業の主目的が喪失したもの及び事業効果が著しく低下した事業 <input type="checkbox"/> 事業の主な目的を喪失した事業 <input type="checkbox"/> 需要量の大幅な減少や停滞、費用の大幅な増加等により、計画の必要性や効果について合理的な説明が困難となった事業	
<input type="checkbox"/>	②代替案検討の結果、代替案のほうが有利な事業 ・目的達成のため他の代替的手段の方が効率的・効果的な事業	
<input type="checkbox"/>	③事業採択から5年以上経過して、下記の理由等から事業進捗を図れない事業 <input type="checkbox"/> 用地買収に対する反対等により、事業進捗が3年以上停滞しており、今後解決が見込めない事業 <input type="checkbox"/> 主体となる関連他事業の事業計画の進捗が見込まれないため、当該事業の進捗が3年以上停滞している事業 (ただし、今後2年以内に関連他事業が伸展する場合はこの限りでないものとする)	

## 5 公共事業評価審査委員会の結果

再評価審査の結果 (該当する項目の前に○印)	<input checked="" type="radio"/>	継続
	<input type="radio"/>	中止
再評価審査の結果概要		

## 6 評価結果

評価実施年度	令和3年度	前回評価	
評価結果 (優先度判定の結果)	I	特記事項	

※優先度区分について

優先度I	: 事業進捗を図り、早期事業効果の発現に努める継続事業
優先度II	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準以上で、熟度が高い新規事業
優先度III	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準未満で、熟度が高く、緊急性や戦略性が高い新規事業
優先度IV	: 優先度II・III以外の新規事業
優先度V	: 中止する事業

# 様式①-1

事業地区・箇所別概要(1)

## 令和4年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート(新規事業)

### 1 事業の基本データ

①計画事業名	事業名	地区・箇所・路線名
	基幹土地改良施設防災機能拡充保全事業	下深谷地区
②事業担当課	担当課	担当班
	農業基盤整備課	農地防災班
	電話番号	059-224-2604
③事業施工場所	地域(市部・郡部/一般・過疎・準過疎)	市町字名
	桑名 市部 一般	桑名市 下深谷部
④事務事業名	基幹土地改良施設防災機能拡充保全事業	
⑤基本事業名	洪水防止対策の推進	
⑥公共事業評価システムにおける分野名	災害の防止	

### 2 事業計画の概要

事業の目的			
老朽化による排水機の機能低下や流域開発に伴う流出率、流出量の増大等の要因から引き起こる湛水被害を未然に防止し、農業経営の安定と地域の安全確保を図るものである。			
事業計画の概要			
排水機 2基		事業着工	2022年度
排水機場 1式		事業完了	2026年度
		供用開始	2027年度
		B/C評価期間	40年
		全体計画事業費(億円)	8.530
		全体計画工期(年数)	5年

### 3 経済効率性評価(費用便益分析)

計算テーブル	便益分類			便益(億円)
テーブル1	自然防御機能維持	自然防御機能維持便益	水源の涵養便益 土砂流出等の災害防止便益	
テーブル2	土砂流出等の災害防止 洪水等の災害防止 高潮・波浪・浸食等の災害防止	災害防御機能拡充便益	人的被害軽減便益 資産被害軽減便益 営業停止損失軽減便益 応急対策経費節減便益	132.97
	洪水等の災害防止	災害防御機能拡充便益	資産被害軽減便益 営業停止損失軽減便益	
	高潮・波浪・浸食等の災害防止	災害防御機能拡充便益	資産被害軽減便益 営業停止損失軽減便益	
テーブル3	アクセス環境の向上	アクセス機能向上便益	アクセス時間短縮便益 アクセス経費節減便益	
		交通事故減少便益	人的被害軽減便益 資産被害軽減便益 応急対策経費節減便益 事故渋滞便益	
		環境改善便益	大気質汚染抑制便益 騒音被害軽減便益	
		待避・避難機能向上便益	待避・避難時間削減便益 待避・避難経費削減便益	
		快適性向上便益	歩行者便益	
		交通遮断防止便益	アクセス時間増加抑制便益 アクセス経費増加抑制便益	
テーブル4	生活環境の向上	水質汚染抑制便益	水質汚染抑制便益	
		家畜排泄物処理便益	家畜排泄物処理便益	
		大気質浄化・騒音遮断等便益	大気質浄化便益 騒音遮断・飛砂等軽減便益	
テーブル5	レク機能等の提供	余暇空間創出便益	余暇空間創出便益	
テーブル6	生産性の向上	生産効率向上便益	労働時間短縮便益 生産経費節減便益	
		生産基盤拡充便益	単位生産量増便益 生産規模・機会増便益 耕作維持・利水便益	
テーブル7	その他	土地創出便益	土地創出便益	
		更新便益	更新便益	
		廃用損失	廃用損失	
粗便益①(現在価値合計) : B' (億円)				132.97
テーブル8	環境評価	自然環境	WTP×受益世帯数	
		景観	WTP×受益世帯数	
		文化	WTP×受益世帯数	
		快適性	WTP×受益世帯数	
		安全・安心	WTP×受益世帯数	
粗便益②(現在価値合計) : E (億円)				0.00
粗便益③(現在価値合計) : <B' + E> (億円)				132.97
地域 桑名 に対応した地域係数				1
便益(現在価値合計) : B (億円) ((B' + E) × 地域係数)				132.97
費用(現在価値合計) : C (億円) (費用計算テーブルより)				113.98
費用便益比 : B/C				1.17

※費用便益分析に関する特記事項

このシートの費用便益値は、三重県方式により算出したものであり、国の定めた算出手法とは異なります。

# 様式①-2

事業地区・箇所別概要（2）

## 令和4年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート（新規事業）

### 1 事業の基本データ

①計画事業名	事業名	地区・箇所・路線名	
	基幹土地改良施設防災機能拡充保全事業	下深谷地区	
②事業担当課	担当課	担当班	電話番号
	農業基盤整備課	農地防災班	059-224-2604
③事業施工場所	地域（市部・郡部/一般・過疎・準過疎）		市町字名
	桑名	市部 一般	桑名市 下深谷部

### 2 政策的重要度評価（個別評価）

#### (a) 戦略性

##### 【全分野共通要件】

1	みえ県民カビジョンの選択・集中プログラムに位置づけられている事業
2	
3	

（具体的な内容の記述<上記の補足事項>）

近い将来に発生が危惧される南海トラフ地震等の災害に備え、緊急かつ効率的な防災・減災対策が必要となっている。

#### (b) 緊急性

##### 【当該事業分野の事項】

I	
II	建造物の老朽化の程度等から見て、保全を必要とする区域の保全
III	
IV	

（具体的な内容の記述<上記の補足事項>）

昭和40年代に建設された施設の更新であり、早急な対応が求められる。

#### (c) 熟 度

##### 【全分野共通要件】

1	
2	
3	協力体制があり、整備に対して熱心な要望がある事業

（具体的な内容の記述<上記の補足事項>）

地域住民等から早期の効果発現を求められている。

### 【評価結果（優先度判定の結果）】

III

#### ※優先度区分について

優先度 I	: 事業進捗を図り、早期事業効果の発現に努める継続事業
優先度 II	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準以上で、熟度が高い新規事業
優先度 III	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準未満で、熟度が高く、緊急性や戦略性が高い新規事業
優先度 IV	: 優先度 II・III以外の新規事業
優先度 V	: 中止する事業

# 様式①-1

事業地区・箇所別概要(1)

## 令和4年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート(新規事業)

### 1 事業の基本データ

①計画事業名	事業名	地区・箇所・路線名
	基幹土地改良施設防災機能拡充保全事業	福豊地区
②事業担当課	担当課	担当班
	農業基盤整備課	農地防災班
	電話番号	059-224-2604
③事業施工場所	地域(市部・郡部/一般・過疎・準過疎)	市町字名
	桑名 市部 一般	桑名市 長島町福豊
④事務事業名	基幹土地改良施設防災機能拡充保全事業	
⑤基本事業名	洪水防止対策の推進	
⑥公共事業評価システムにおける分野名	災害の防止	

### 2 事業計画の概要

事業の目的			
老朽化による排水機の機能低下や流域開発に伴う流出率、流出量の増大等の要因から引き起こる湛水被害を未然に防止し、農業経営の安定と地域の安全確保を図るものである。			
事業計画の概要			
排水機 2基		事業着工	2022年度
排水機場 1式		事業完了	2026年度
		供用開始	2027年度
		B/C評価期間	40年
		全体計画事業費(億円)	13.170
		全体計画工期(年数)	5年

### 3 経済効率性評価(費用便益分析)

計算テーブル	便益分類			便益(億円)
テーブル1	自然防御機能維持	自然防御機能維持便益	水源の涵養便益 土砂流出等の災害防止便益	
テーブル2	土砂流出等の災害防止 洪水等の災害防止 高潮・波浪・浸食等の災害防止	災害防御機能拡充便益	人的被害軽減便益 資産被害軽減便益 営業停止損失軽減便益 応急対策経費節減便益	102.51
	洪水等の災害防止 高潮・波浪・浸食等の災害防止	災害防御機能拡充便益	資産被害軽減便益 営業停止損失軽減便益	
		災害防御機能拡充便益	資産被害軽減便益 営業停止損失軽減便益	
テーブル3	アクセス環境の向上	アクセス機能向上便益	アクセス時間短縮便益 アクセス経費節減便益	
		交通事故減少便益	人的被害軽減便益 資産被害軽減便益 応急対策経費節減便益 事故渋滞便益	
		環境改善便益	大気質汚染抑制便益 騒音被害軽減便益	
		待避・避難機能向上便益	待避・避難時間削減便益 待避・避難経費削減便益	
		快適性向上便益	歩行者便益	
		交通遮断防止便益	アクセス時間増加抑制便益 アクセス経費増加抑制便益	
テーブル4	生活環境の向上	水質汚染抑制便益	水質汚染抑制便益	
		家畜排泄物処理便益	家畜排泄物処理便益	
		大気質浄化・騒音遮断等便益	大気質浄化便益 騒音遮断・飛砂等軽減便益	
テーブル5	レク機能等の提供	余暇空間創出便益	余暇空間創出便益	
テーブル6	生産性の向上	生産効率向上便益	労働時間短縮便益 生産経費節減便益	
		生産基盤拡充便益	単位生産量増便益 生産規模・機会増便益 耕作維持・利水便益	
テーブル7	その他	土地創出便益	土地創出便益	
		更新便益	更新便益	
		廃用損失	廃用損失	
粗便益①(現在価値合計) : B' (億円)				102.51
テーブル8	環境評価	自然環境	WTP×受益世帯数	
		景観	WTP×受益世帯数	
		文化	WTP×受益世帯数	
		快適性	WTP×受益世帯数	
		安全・安心	WTP×受益世帯数	
粗便益②(現在価値合計) : E (億円)				0.00
粗便益③(現在価値合計) : <B' + E> (億円)				102.51
地域 桑名 に対応した地域係数				1
便益(現在価値合計) : B (億円) ((B' + E) × 地域係数)				102.51
費用(現在価値合計) : C (億円) (費用計算テーブルより)				46.39
費用便益比 : B/C				2.21

※費用便益分析に関する特記事項

このシートの費用便益値は、三重県方式により算出したものであり、国の定めた算出手法とは異なります。

# 様式①-2

事業地区・箇所別概要 (2)

## 令和4年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート(新規事業)

### 1 事業の基本データ

①計画事業名	事業名	地区・箇所・路線名	
	基幹土地改良施設防災機能拡充保全事業	福豊地区	
②事業担当課	担当課	担当班	電話番号
	農業基盤整備課	農地防災班	059-224-2604
③事業施工場所	地域(市部・郡部/一般・過疎・準過疎)		市町字名
	桑名	市部 一般	桑名市 長島町福豊

### 2 政策的重要度評価 (個別評価)

#### (a) 戦略性

##### 【全分野共通要件】

1	みえ県民カビジョンの選択・集中プログラムに位置づけられている事業
2	
3	

(具体的な内容の記述<上記の補足事項>)

近い将来に発生が危惧される南海トラフ地震等の災害に備え、緊急かつ効率的な防災・減災対策が必要となっている。

#### (b) 緊急性

##### 【当該事業分野の事項】

I	
II	建造物の老朽化の程度等から見て、保全を必要とする区域の保全
III	
IV	

(具体的な内容の記述<上記の補足事項>)

昭和50年代に建設された施設の更新であり、早急な対応が求められる。

#### (c) 熟 度

##### 【全分野共通要件】

1	
2	
3	協力体制があり、整備に対して熱心な要望がある事業

(具体的な内容の記述<上記の補足事項>)

地域住民等から早期の効果発現を求められている。

### 【評価結果 (優先度判定の結果)】

III

#### ※優先度区分について

優先度 I	: 事業進捗を図り、早期事業効果の発現に努める継続事業
優先度 II	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準以上で、熟度が高い新規事業
優先度 III	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準未満で、熟度が高く、緊急性や戦略性が高い新規事業
優先度 IV	: 優先度 II・III以外の新規事業
優先度 V	: 中止する事業

# 様式①-1

事業地区・箇所別概要(1)

## 令和4年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート(新規事業)

### 1 事業の基本データ

①計画事業名	事業名	地区・箇所・路線名
	基幹土地改良施設防災機能拡充保全事業	近江島地区
②事業担当課	担当課	担当班
	農業基盤整備課	農地防災班
	電話番号	059-224-2604
③事業施工場所	地域(市部・郡部/一般・過疎・準過疎)	市町字名
	桑名 郡部 一般	木曾岬町 近江島
④事務事業名	基幹土地改良施設防災機能拡充保全事業	
⑤基本事業名	洪水防止対策の推進	
⑥公共事業評価システムにおける分野名	災害の防止	

### 2 事業計画の概要

事業の目的			
老朽化による排水機の機能低下や流域開発に伴う流出率、流出量の増大等の要因から引き起こる湛水被害を未然に防止し、農業経営の安定と地域の安全確保を図るものである。			
事業計画の概要			
排水機 4基		事業着工	2022年度
排水機場 1式		事業完了	2028年度
		供用開始	2029年度
		B/C評価期間	40年
		全体計画事業費(億円)	43.220
		全体計画工期(年数)	7年

### 3 経済効率性評価(費用便益分析)

計算テーブル	便益分類			便益(億円)
テーブル1	自然防御機能維持	自然防御機能維持便益	水源の涵養便益 土砂流出等の災害防止便益	
テーブル2	土砂流出等の災害防止 洪水等の災害防止 高潮・波浪・浸食等の災害防止	災害防御機能拡充便益	人的被害軽減便益 資産被害軽減便益 営業停止損失軽減便益 応急対策経費節減便益	245.36
	洪水等の災害防止 高潮・波浪・浸食等の災害防止	災害防御機能拡充便益	資産被害軽減便益 営業停止損失軽減便益 資産被害軽減便益 営業停止損失軽減便益	
テーブル3	アクセス環境の向上	アクセス機能向上便益 交通事故減少便益 環境改善便益 待避・避難機能向上便益 快適性向上便益 交通遮断防止便益	アクセス時間短縮便益 アクセス経費節減便益 人的被害軽減便益 資産被害軽減便益 応急対策経費節減便益 事故渋滞便益 大気質汚染抑制便益 騒音被害軽減便益 待避・避難時間削減便益 待避・避難経費削減便益 歩行者便益 アクセス時間増加抑制便益 アクセス経費増加抑制便益	
テーブル4	生活環境の向上	水質汚染抑制便益 家畜排泄物処理便益 大気質浄化・騒音遮断等便益	水質汚染抑制便益 家畜排泄物処理便益 大気質浄化便益 騒音遮断・飛砂等軽減便益	
テーブル5	レク機能等の提供	余暇空間創出便益	余暇空間創出便益	
テーブル6	生産性の向上	生産効率向上便益 生産基盤拡充便益	労働時間短縮便益 生産経費節減便益 単位生産量増便益 生産規模・機会増便益 耕作維持・利水便益	
テーブル7	その他	土地創出便益 更新便益 廃用損失	土地創出便益 更新便益 廃用損失	
粗便益①(現在価値合計) : B' (億円)				245.36
テーブル8	環境評価	自然環境 景観 文化 快適性 安全・安心	WTP×受益世帯数 WTP×受益世帯数 WTP×受益世帯数 WTP×受益世帯数 WTP×受益世帯数	
粗便益②(現在価値合計) : E (億円)				0.00
粗便益③(現在価値合計) : <B' + E> (億円)				245.36
地域 桑名 に対応した地域係数				1.1
便益(現在価値合計) : B (億円) ((B' + E) × 地域係数)				269.90
費用(現在価値合計) : C (億円) (費用計算テーブルより)				86.66
費用便益比 : B/C				3.11

※費用便益分析に関する特記事項

このシートの費用便益値は、三重県方式により算出したものであり、国の定めた算出手法とは異なります。

# 様式①-2

事業地区・箇所別概要(2)

## 令和4年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート(新規事業)

### 1 事業の基本データ

①計画事業名	事業名	地区・箇所・路線名	
	基幹土地改良施設防災機能拡充保全事業	近江島地区	
②事業担当課	担当課	担当班	電話番号
	農業基盤整備課	農地防災班	059-224-2604
③事業施工場所	地域(市部・郡部/一般・過疎・準過疎)		市町字名
	桑名	郡部 一般	木曾岬町 近江島

### 2 政策的重要度評価(個別評価)

#### (a) 戦略性

##### 【全分野共通要件】

1	みえ県民カビジョンの選択・集中プログラムに位置づけられている事業
2	
3	

(具体的な内容の記述<上記の補足事項>)

近い将来に発生が危惧される南海トラフ地震等の災害に備え、緊急かつ効率的な防災・減災対策が必要となっている。

#### (b) 緊急性

##### 【当該事業分野の事項】

I	
II	構造物の老朽化の程度等から見て、保全を必要とする区域の保全
III	
IV	

(具体的な内容の記述<上記の補足事項>)

昭和40年代に建設された施設の更新であり、早急な対応が求められる。

#### (c) 熟度

##### 【全分野共通要件】

1	
2	
3	協力体制があり、整備に対して熱心な要望がある事業

(具体的な内容の記述<上記の補足事項>)

地域住民等から早期の効果発現を求められている。

### 【評価結果(優先度判定の結果)】

III

#### ※優先度区分について

優先度 I	: 事業進捗を図り、早期事業効果の発現に努める継続事業
優先度 II	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準以上で、熟度が高い新規事業
優先度 III	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準未満で、熟度が高く、緊急性や戦略性が高い新規事業
優先度 IV	: 優先度 II・III 以外の新規事業
優先度 V	: 中止する事業

# 様式③-1

事業地区・箇所別概要（1）

令和4年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート（継続事業）

## 1 事業の基本データ

①計画事業名	事業名	地区・箇所・路線名
	ため池等整備事業（一般）	蛸塚大溜池地区
②事業担当課	担当課	担当班
	農業基盤整備課	農地防災班
		電話番号
		059-224-2604
③事業施工場所	地域（市部・郡部/一般・準過疎・過疎）	市町字名
	桑名 市部 一般	桑名市
		蛸塚新田
④事務事業名	ため池等整備事業	
⑤基本事業名	洪水防止対策の推進	
⑥公共事業評価システムにおける分野名	災害の防止	

## 2 事業の概要

事業の目的		
既設農業用ため池の堤体等の改修を行い、下流に位置する農地や農業用施設ならびに人家や公共施設への被害を未然に防止する。		
事業の概要		
ため池改修工	1式	
		事業採択
		2017年度
		事業着工
		2017年度
		事業完了
		2023年度
		供用開始
		2024年度
		全体計画事業費（億円）
		4.150
		全体計画工期（年数）
		7年

## 3 事業計画の進捗状況

実施済み事業の概要			事業進捗率の算定式
ため池改修工	1式		[進捗率=実施済み総事業費/計画事業費×100]
			2020年度までの事業進捗率
			82.8%
			2021年度完了までの事業進捗率
			93.4%
			実施済み総事業費（億円）
			3.877

## 4 公共事業の再評価実施の必要性

下記2基準に基づく今年度の再評価の必要性 （該当する項目の前に○印）	<input checked="" type="radio"/>	必要である
	<input type="radio"/>	必要でない
<b>1. 三重県公共事業再評価実施要綱による対象事業判定（該当する項目にチェックする）</b>		
<input type="checkbox"/>	①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業	
<input type="checkbox"/>	②事業採択後一定期間（5～10年）を経過した時点で継続中の事業	
<input type="checkbox"/>	③再評価実施後一定期間が経過している事業	
<input type="checkbox"/>	④社会経済状況の急激な変化等により再評価を実施する必要性が生じた事業	
<b>2. 公共事業の見直し基準による対象事業判定（該当する項目にチェックする）</b>		
<input type="checkbox"/>	①社会経済情勢の変化により、住民ニーズ、事業の主目的が喪失したものと及び事業効果が著しく低下した事業 <input type="checkbox"/> 事業の主な目的を喪失した事業 <input type="checkbox"/> 需要量の大幅な減少や停滞、費用の大幅な増加等により、計画の必要性や効果について合理的な説明が困難となった事業	
<input type="checkbox"/>	②代替案検討の結果、代替案のほうが有利な事業 ・目的達成のため他の代替的手段の方が効率的・効果的な事業	
<input type="checkbox"/>	③事業採択から5年以上経過して、下記の理由等から事業進捗を図れない事業 <input type="checkbox"/> 用地買収に対する反対等により、事業進捗が3年以上停滞しており、今後解決が見込めない事業 <input type="checkbox"/> 主体となる関連他事業の事業計画の進捗が見込まれないため、当該事業の進捗が3年以上停滞している事業 （ただし、今後2年以内に関連他事業が伸展する場合はこの限りでないものとする）	

## 5 公共事業評価審査委員会の結果

再評価審査の結果 （該当する項目の前に○印）	<input checked="" type="radio"/>	継続
	<input type="radio"/>	中止
再評価審査の結果概要		

## 6 評価結果

評価実施年度	令和3年度	前回評価	
評価結果 （優先度判定の結果）	I	特記事項	

※優先度区分について

優先度Ⅰ	: 事業進捗を回り、早期事業効果の発現に努める継続事業
優先度Ⅱ	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準以上で、熟度が高い新規事業
優先度Ⅲ	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準未満で、熟度が高く、緊急性や戦略性が高い新規事業
優先度Ⅳ	: 優先度Ⅱ・Ⅲ以外の新規事業
優先度Ⅴ	: 中止する事業